



社協なかはら

SHAKYOU NAKAHARA

もくじ

・正副会長就任にあたって	1面	・福祉用具リサイクル情報	4面
・シリーズ「私たちこんな活動しています」	2面	・寄託金品の紹介	4面
・平成27年度事業・決算報告、 平成28年度事業計画・予算	3面	・人事異動報告	4面
・賛助会員募集	4面	・社協なかはら編集委員紹介	4面

発行所 社会福祉法人
川崎市中原区社会福祉協議会
川崎市中原区今井上町1-34
和田ビル1階 福祉パルなかはら
Tel 722-5500 Fax 711-1260
発行人 青木 英光
編 者 社協なかはら等編集委員会

このたび、第十一期中原区社会福祉協議会会长を拝命いたしました。大変、身の引き締まる思いでございます。業務執行に当りましては、甚だ微力ではありますが、次の二点を課題として、会長業務を遂行して行きたいと考えております。

一 本年度より、川崎市が提唱の「誰もが住み慣れた地域や自ら望む場で、安心して暮らし続けることができる地域の実現」を基本理念とする「地域包括ケアシステム」構築の土台作りが本格化します。中原区社協としましては、「行政と社協（区社協・地区社協）との協働事業として地区民児協、地区町連と連携し、関係機関の協力を頂き、社協の存在感を示す重要な取り組みと位置付けて推進します。

二 第三期地域福祉活動計画の実行に当たりまして、中原区の地域特性を的確に捉え、多岐・多様化する地域の福祉課題につき、住民の皆様の期待に応えられるよう高齢・障がい者福祉や子育て支援等の「地域福祉活動」を中心に積極的な推進を図ります。

今後とも、行政、町連、地区社協、地区民児協、保護司会、社会福祉関係施設及び福祉関係諸団体にご支援、ご協力頂き「おたがいさまの心で満ちあふれる福祉のまちづくり」を進めて行く所存です。

第十一期 中原区社会福祉協議会 正副会長・顧問就任の おしらせ

4月10日開催の中原区社協理事会にて第十一期正副会長・顧問の就任が決定しました。

会長 青木 英光
副会長 松原 清一
副会長 富岡 茂太郎
顧問 原 良三
顧問 鈴木 賢二
(敬称略)



中原区社会福祉協議会
副会長 富岡 茂太郎



中原区社会福祉協議会
副会長 松原 清一

今回、中原区社会福祉協議会副会長を仰せ付かりました。自分たちの地域は自分たちの手で元気で暮らすための普通の生活を送るために支え高齢者の日常生活で考え生きがいと共に支え健康寿命を伸ばし周囲の支えが源泉に心身共に衰えても幸福感ある暮らしを続けるためにサポートする所存です。

今回、中原区社会福祉協議会副会長を仰せ付かりました。

関係機関、地域の皆様との友情と信頼によりまして連携を更に深め、誰もが安心して暮らせるため、さまざまな「地域の絆づくり」のために活動して参ります。

第十一期 中原区社会福祉協議会



中原区社会福祉協議会
会長 青木 英光



シリーズ
Vol.3

私たちこんな活動しています！

中原区社会福祉協議会は、第1種から第10種までの組織・団体によって構成されています。

- 第1種**：公私社会福祉事業施設・団体、**第2種**：地区社会福祉協議会、**第3種**：地区民生委員・児童委員協議会、**第4種**：地区保護司会、**第5種**：地区町内会連絡協議会、**第6種**：障害者当事者団体、**第7種**：ボランティアグループ
- 第8種**：社会福祉に関係のあるその他の団体、**第9種**：社会福祉関係行政機関、**第10種**：学識経験者

本号は当会の第7種会員であり、中原区内で活動するボランティアグループを紹介いたします。

ぐるーふ、ももちゃん

「ぐるーふ、ももちゃん」の活動は平成9年からはじめられ、毎年2・3ヶ所の保育園に手づくりオモチャを寄贈し、よろこんでいただいてまいりました。

平成10年度の「ふれあいまつり」の参加にはじまり、部員の活動ぶりをみていただきそれを励みに平成10年度より27年度まで毎年参加してまいりました。

今年度は「布オモチャ」に興味のある方々に呼びかけていただき、研修室での「ミニ講習会」をはじめております。予育て中の若いお母さんと一緒に可愛いお子さ

連絡先：【住所】中原区西加瀬12-37
【TEL】044-422-5318
【FAX】なし

ん達と楽しい一時を過ごしながらの作品づくりです。

上手に予育てとご自分の時間を有効に両立させている一生懸命な姿に感動しています。

今年の「なかはら福祉健康まつり」には、つくり上げた作品を多くの皆さんに見ていただけるように計画しています。

「布の持つ柔らかさと温もり」を今後も伝えていきたいと思います。



作品の写真



平成27年度「布おもちゃづくり」講習作業中の写真

中原カウンセリング研究会

連絡先：【住所】中原区小杉町2-308
【TEL】044-711-5321
【FAX】044-711-5321

「一人で悩んでいないで気軽に話してみて」「一緒に考えよう」との願いをこめて電話相談を立ち上げて25年余、面接相談も受けることにしてから12年目を迎えています。「おしゃべり相談」とのネーミングどおりに堅苦しい相談でなく、カウンセリングを学んだことを活かしながら相談者の立場でお話を聴く事を大事にしています。ご相談の内容は…人間関係（家族、近隣、学校、職場など）、生き方、予育て…とさまざまです。一気に解決！とはいいかないけれど、「いつの間にか気持ちが楽になった」とか「違った

面に気が付いた」とかご本人なりに受けとめて変化していかれるのを聞くとホッとします。相談を受けるメンバーもさまざまな経験を経てています。…予育て、不登校、親や夫の介護、自らの病などなど。いわば「人生の達人」でしょうか。相談活動の他、月2回「大人のしゃべり場」として、テーマに沿った学びと話し合の会を開催しています。今年度のテーマとしては「人との距離感」「家族とは」「コンプレックス」などです。どうぞお気軽にいらしてみて下さい。お待ちしています。

- ◆おしゃべり相談：【電話】毎週火曜日 10時～16時
434-5498
- 【面接】毎週火曜日 12時～16時
会場：リエトプラザⅡ
- ◆大人のしゃべり場：第2、第4日曜日 13時～15時半
会場：小杉2丁目会館
- ◆URL：<http://oshaberi-sodan.jimbo.com>



おしゃべり相談中の様子

平成27年度の事業報告・決算と平成28年度の事業計画・予算

平成27年度 事業報告・決算

平成27年度からスタートした第3期地域福祉活動計画の基本目標に沿って各種事業に取り組みました。地域包括ケアシステムの構築に向けて区役所と連携を図り、本会役員や地区社会福祉協議会関係者を対象に現在行っている地域福祉活動の確認を行いました。

なかはらボランティアセンターでは、運営の充実に努め、ボランティア活動経験者による相談窓口を引き続き実施しました。また、情報紙「ボボラーレ」1月号をカラー印刷で作成し広報周知に努めました。

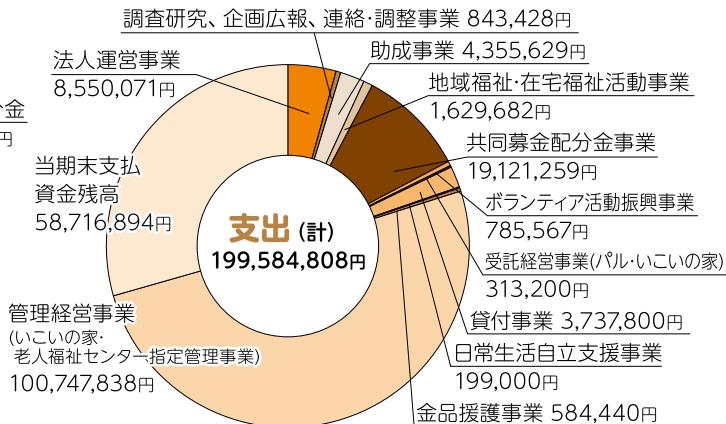
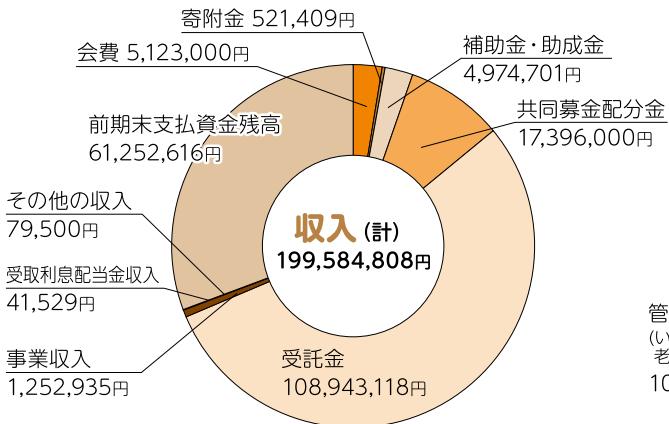
広報啓発活動では、機関紙「社協なかはら」が3月発行で100号となり特別企画としてページを増やしカラー印刷で発行した他、中原区ガイドマップ等への広告掲載、ホームページによる最新情報の発信に努めました。

障害者(児)リフレッシュ事業、予育て支援事業、移送サ

ービス事業、日常生活自立支援事業、指定管理施設の管理運営等を実施し、区内の地域福祉の推進、向上に努めました。

実施したおもな事業活動

- 理事会、評議員会、監事会の開催
- 機関紙「社協なかはら」の発行(年4回)
- ポスター掲示、リーフレット作製
- ボランティアセンターの運営、各種講座等の実施
- 障害者(児)リフレッシュ事業、子育て支援事業、移送サービス事業、車いす貸出事業(短期)、日常生活自立支援事業等各種事業の実施
- 指定管理者として、老人いこいの家(区内7ヵ所)、中原老人福祉センターの管理運営



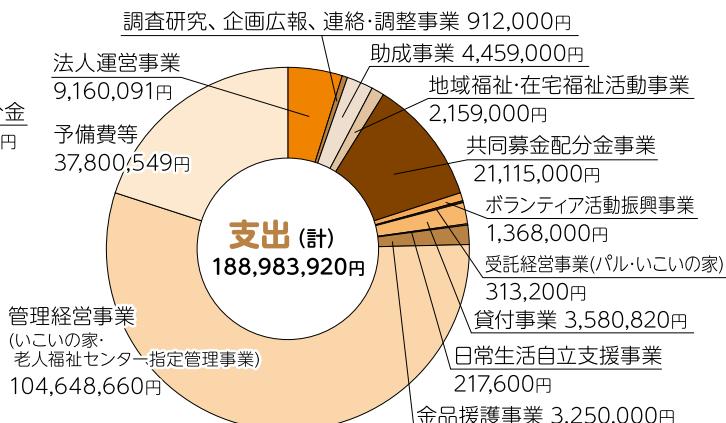
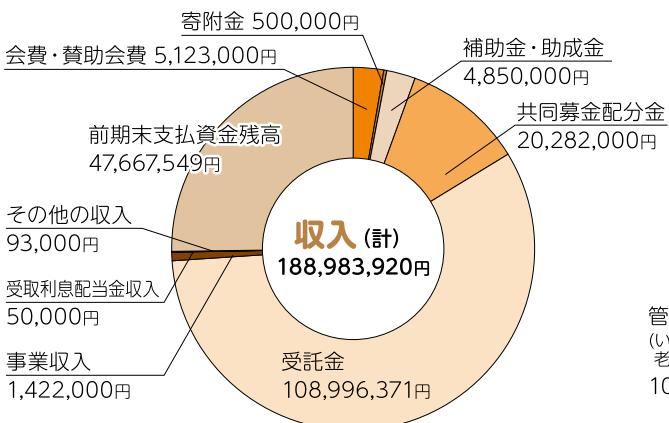
平成28年度 事業計画・予算

平成27年3月に策定された「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」では、平成30年度までに土台作りを行うこととなっており、平成28年度から本格的に動き出します。本会においても、昨年度からスタートした第3期地域福祉活動計画を着実に進行しながら、区役所や関係機関とより密接な連携を図り、從来から担ってきた地域づくりと地域福祉のさらなる充実を目指し、地区社会福祉協議会活動への支援、ボランティアグループ等がお

こなう小地域福祉活動への支援に取り組み、誰もが安心して生活できる地域社会づくりに努めます。

さらに社会福祉協議会の存在と活動を住民に理解してもらうための広報啓発、ボランティアセンターの運営等の事業を展開します。

また、中原区あんしんセンターの運営の充実、指定管理施設の管理運営と事業の充実を図ります。



7~9月は
賛助会員募集の
強化月間です

賛助会員募集!

賛助会員って何？募集時期は？
どうやって賛助会員になるの？

賛助会員とは、社会福祉協議会の趣旨・目的に賛同していただき、会費を払うことを通して活動や運営を応援していただく個人または団体のことです。

賛助会員の募集は年間を通して行っており、なかでも7~9月は賛助会員募集の強化月間として、地区社協関係者があなたのお宅にお伺いします。賛助会費は原則として一口1,000円からとなっています。区社協の窓口でも受付しておりますので、お問い合わせください。

行政では解決が難しい地域の福祉課題を解決するには、その地域にお住まいの方々の協力が不可欠です。「忙しくてボランティアはちょっと」という方も賛助会員になることで地域福祉に貢献することができます。社協と一緒に中原区を「住みよいまち」にしていきませんか？

賛助会費はこのように役立ちます！



その他、多くの福祉事業に
役立てられます！

平成28年4月1日付けで職員の異動がありました。
「地域課」「いこいの家」「事業所」の委嘱がありました。

◇お世話になりました

【地域課】 高橋 千登世（退職）
【いこいの家】 小山田 広子（退職）
【事業所】 吉川 誠司（退職）
中村 美由紀
(たかつ訪問介護へ)

平成28年3月2日～平成28年6月2日までの「ボランティア銀行なかはら」への善意の寄付金品は次のとおりです。これらは地域の福祉関係団体や施設などへお贈りしています。

寄付金

中原区子ども会連合会
セレサ川崎農業協同組合
代表理事組合長 柴原裕

東急リゾートサービス

匿名

石勝工クスティリア共同事業体
川崎国際生田緑地ゴルフ場

(敬称略)

社協なかはら 編集委員紹介

平成28年4月27日付けで、
委員の委嘱がありました。

二松 利恵子	佐野 啓子	野口 夕湖	岡野 薫	原 庚三	山本 実千代	加藤 和代	副委員長	委員長
陽子	松本 吉川	吉川 渡辺	島田 花光	長岡 章子	島田 恵美	石塚 由紀		
	カヨ子	久仁子	圭子	圭子	敦子	井口 敦子		
	文子				一子	一子		

「地域課」	小山 英郎
「いこいの家」	(川崎市社協ボランティア 活動振興センターへ)
「事業所」	渡邊 タツ子（退職）
「老人福祉センター」	松澤 博（退職）
	石塚 由紀
	島田 花光
	長岡 章子
	島田 恵美
	圭子
	敦子
	一子
	一子

中原区社協人事異動報告

ありがとうございます



中原区社協では、福祉用具を譲りたい方と必要な方の橋渡しをしています。

ゆずります

- ◇シルバーカー（歩行補助車）
- ◇電動式ベッド
- ◇四点杖
- ◇リハビリシユーズ
- ◇常時募集中！お気軽においでぞ。

ゆずってください

※先着順のためご希望に添えない場合があります
※問合せ後の連絡・引き取りは当事者同士で行つていただきます。

【問合せ】中原区社会福祉協議会
TEL 722-5500
FAX 711-1260